



柳谷 渉
(大河・生々・みどりの会連合)

国保の資格証明書交付

質問 国保税を1年間滞納すると被保険者証に代わって資格証明書が交付されるが、病院の窓口負担が10割であるため、病院にかかれないでいる人たちがいる。人の命はかけがえないものがある。取り組みの状況と今後の考え方について伺いたい。

答弁 「特別の事情」の届け出や納税誓約による分割納付を促し、できるだけ短期被保険者証を交付するように対応していきたい。また、生活困窮者には、国保税の減免や一部負担金の免除・徴収猶予などに該当する場合もあるので、このことについても周知し対応している。国民健康保険制度は相互扶助の考えで成り立っており、今後とも国保税を納付している人との負担の公平性を欠くことのないよう、法令の趣旨に沿って運用していく。

イオンの農振除外申し出への市長判断は

質問 恐らく本市の全小売店の売り場面積の70%以上は大型店に占められているのではないかと。市街地の店が衰退し、交通弱者は日常の買い物にも困っている。市長は一時的な景気動向に左右されず、長期的まちづくりの観点から判断すべきだ。

答弁 イオンから提出された計画の内容は、土地利用面積9万5795・33㎡、農振除外農用地面積は4万5335㎡となっており、業態はモール型ショッピングセンターと伺っている。今後、計画内容が明らかになり次第、できるものは公表したいと考えている。判断を行う際には、本市の将来を左右する重大な事案であり、計画内容を精査の上、市民・市・能代山本圏域のためプラスになるのか、今後のまちづくり、土地の有効活用、地域経済への影響、市民の意向などについて慎重に検討し、判断したいと考えている。

柳谷議員のその他の質問事項

- 平成19年度予算編成方針について
- 雇用創出について
- 火力協力金使途に関する市長発言



小林 秀彦
(日本共産党)

農地・水・環境保全向上対策

質問 来年度から、農地・水・環境保全向上対策がスタートする。現在のこの対策に向けて各地区での説明会や取り組みが始まっているが、どこまで進んでいるのかお聞きしたい。

答弁 平成18年11月末時点で、事業要望している地区は31地区、対象農地は約4500haとなっている。また生産調整の有無等を要件とすることについては、各市町村の判断とされており、各市としては、これまで行政が進めてきた農業政策が生産調

二ツ井町種地区のモデル事業



▲コスモスの植栽

▲農道の砂利補充

整を前提条件としてきたことや、農業者団体からも生産調整未達成者の面積を除外すべきとの意見もあるので、この助成対象からは除外したいと考えている。

交通空白地域の解消

質問 市では、市街地巡回バスが運行され、利用者の方々にも大変喜ばれているが、交通機関の空白地域は、農村部においてかなり存在している。車のない住民や高齢者のためにも、交通機関の空白地域の解消が必要ではないか。

答弁 それぞれの地域における暮らしの利便性の格差は、できる限り解消していかなければならない課題であると認識している。県では平成19年度に、生活交通の確保、中山間地域の交通基盤づくりなどの方向性を示す「新総合交通ビジョン」を策定する予定であり、その内容を踏まえ、さらに、本市の交通体系の現状や市民ニーズを検証・分析しながら、まちづくり全体の中で生活交通の位置づけについて、調査・研究を進めていきたい。

小林議員のその他の質問事項

- 能代産業廃棄物処理センター
- まちづくりについて
- 教育問題について